

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分  
 【発行日】令和 4 年 3 月 28 日(2022.3.28)

【公開番号】特開 2021-108870(P2021-108870A)  
 【公開日】令和 3 年 8 月 2 日(2021.8.2)  
 【年通号数】公開・登録公報 2021-034  
 【出願番号】特願 2020-1920(P2020-1920)  
 【国際特許分類】  
     A 6 3 F 7/02(2006.01)  
 【F I】  
     A 6 3 F 7/02 3 0 4 D

10

【手続補正書】  
 【提出日】令和 4 年 3 月 17 日(2022.3.17)  
 【手続補正 1】  
 【補正対象書類名】特許請求の範囲  
 【補正対象項目名】全文  
 【補正方法】変更  
 【補正の内容】  
 【特許請求の範囲】  
 【請求項 1】

20

演出を実施可能な演出装置において、  
前記演出装置は、第 1 の可動体と第 2 の可動体とを備え、  
前記第 1 の可動体は、第 1 の位置から第 2 の位置への動作を実施可能であり、  
前記第 2 の可動体は、前記第 1 の可動体へ収容された状態で前記第 1 の可動体と当接し  
て動作することが可能であり、  
前記第 1 の可動体は、  
特定の演出態様を実施可能であり、  
前記第 1 の位置および前記第 2 の位置のうち、少なくともいずれか一方の位置において  
前記特定の演出態様で演出実施可能であり、  
前記第 1 の位置から前記第 2 の位置に移動する動作においても前記移動する動作に伴っ  
て前記特定の演出態様を実施可能であり、  
前記演出態様は切替手段によって決定され、  
前記第 2 の可動体は、  
側方面に案内部が成形されており、前記第 1 の可動体に設けられた伝達部と接し、前記  
伝達部は案内部に沿って移動することで前記第 1 の可動体は前記第 1 の位置から前記第 2  
の位置へ動作することを特徴とする遊技機。

30

【手続補正 2】  
 【補正対象書類名】明細書  
 【補正対象項目名】0 0 0 3  
 【補正方法】変更  
 【補正の内容】  
 【0 0 0 3】

40

特許文献 1 には、回転動作を行うことで所定の可動演出を行う可動演出役物を備えた遊技  
機が開示されている。

【手続補正 3】  
 【補正対象書類名】明細書  
 【補正対象項目名】0 0 0 4  
 【補正方法】変更

50

【補正の内容】

【0004】

【特許文献1】特開2016-59498号公報

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

このような遊技機において、遊技の興趣をさらに向上させることが望まれている。

10

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

本発明は、上述した課題に鑑みてなされたものであり、遊技の興趣を向上させることができる遊技機を提供することを目的とする。

【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

本発明に係る遊技機は、演出を実施可能な演出装置において、前記演出装置は、第1の可動体と第2の可動体とを備え、前記第1の可動体は、第1の位置から第2の位置への動作を実施可能であり、前記第2の可動体は、前記第1の可動体へ収容された状態で前記第1の可動体と当接して動作することが可能であり、前記第1の可動体は、特定の演出態様が実施可能であり、前記第1の位置および前記第2の位置のうち、少なくともいずれか一方の位置において前記特定の演出態様で演出実施可能であり、前記第1の位置から前記第2の位置に移動する動作においても前記移動する動作に伴って前記特定の演出態様を実施可能であり、前記演出態様は切替手段によって決定され、前記第2の可動体は、側方面に案内内部が成形されており、前記第1の可動体に設けられた伝達部と接し、前記伝達部は案内内部に沿って移動することで前記第1の可動体は前記第1の位置から前記第2の位置へ動作することを特徴としている。

30

【手続補正7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

本発明によれば、演出態様を多彩にし、遊技の興趣を向上させることができる。

40